科　目 コード	22153	授業 科目	人間関係論 (Human Relations)	担当 教員	○渡久山朝裕　大川嶺子

開講年次	２年次　前期	単位数	1単位	科目 分類	専門関連科目 (保健師課程・看護師課程)	授業 形態	講義・演習
選択必修	必　修	時間数	30時間				

履修条件		
	前提科目	なし
	その他	なし

授業概要	心の健康や対人関係における適応などの問題に悩む個人・家族・集団への心理的援助方法としてカウンセリングの理論と方法を実践的に学修し、それを基礎として看護実践で行われる面接、健康相談、コンサルテーション、ケアマネジメント等への応用も学修する。
到達目標	1. ロジャースの人間中心理論を理解できる。 2. カウンセリング的な応答や援助的コミュニケーションの原則を述べることができる。 3. 上記技術を活用し、健康相談やコンサルテーションを行う方法について理解できる。 4. 3. のスキルを実践できる。

授業回数	授　業　内　容　及　び　計　画	事前・事後学習	担当者名	授業形態
第１回	授業の概要説明、人間関係とは、カウンセリングとは		渡久山	講　義
第２回	ロジャースの来談者中心療法①	P.29-40	〃	〃
第３回	ロジャースの来談者中心療法②		〃	〃
第４回	ロジャースの来談者中心療法③		〃	〃
第５回	カウンセリング事例の検討Ⅰ	資料	〃	演　習
第６回	カウンセリング事例の検討Ⅱ（録音事例・ビデオ事例）	資料	〃	〃
第７回	カウンセリング演習①基本的技法の練習		〃	〃
第８回	カウンセリング演習②ロールプレイⅠ(一般的な client)		〃	〃
第９回	カウンセリング演習③ロールプレイⅡ(看護現場の client)		〃	〃
第10回	カウンセリング演習のまとめ・アンケート		〃	〃
第11回	精神障害者への心理療法①	P.121-129	〃	講　義
第12回	精神障害者への心理療法②・電話相談（自殺予防）	資料	〃	〃
第13回	看護現場でのカウンセリング技法の活用１	資料	大 川	〃
第14回	看護現場でのカウンセリング技法の活用２	資料	〃	〃
第15回	HIV エイズカウンセリング、人間関係の倫理、 授業の振り返り、まとめ	資料	渡久山	〃
第16回	期末試験			

テキスト	1. 小山望編. (2009). わかりやすい臨床心理学入門. 福村出版.
参考文献	・国分康孝. (1980). カウンセリングの理論. 誠信書房. ・国分康孝. (1981). エンカウンター. 誠信書房. ・名嘉幸一編. (2006). 臨床心理学. 中外医学社.
他科目との関連	「心理学」「臨床心理」での学習につなげる
成績評価の方法	ミニ・レポート12%、期末レポート20%、期末試験58%、授業への参加状況10%
学習相談・学習体制	毎回の授業の終了時にWeb入力させる「出席入力」に、理解できなかった内容、疑問に感じた点等を記述させ、次回の授業の冒頭で説明・補足を行う。 授業終了後は10分程度教室に居り、学生が個人的に質問できる機会をつくる。演習に抵抗を示す学生は授業外で個別指導の機会を設ける。
学習指導法の工夫	討論型授業
授業改善の特記事項	心理的援助の様々な分野に関する文献を検索し、報告するミニ・レポートを学期中に3回程度、課すことで興味・関心を喚起し、図書館になじませる。
備　考	演習に積極的に参加し、実践的に学ぶ態度を持つこと。 ・本科目は、看護師課程「専門基礎分野」『疾病の成り立ちと回復の促進』『健康支援と社会保障制度』及び保健師課程「個人・家族・集団・組織の支援」「公衆衛生看護活動展開論」「公衆衛生看護管理論」の内容を含む

科　目 コード	21154	授業 科目	疾病論Ⅰ (Nosography　Ⅰ)	担当 教員	○佐伯宣久 寺田陽子（非常勤）

開講年次	2年次 前期	単位数	2単位	科目 分類	専門関連科目	授業 形態	講　義
選択必修	必　修	時間数	30時間				

履修条件		
	前提科目	なし
	その他	なし

授業概要	成人期および老年期に特有な疾病の病態生理、症状、診断、治療について学修する。
到達目標	1. 成人期・老年期で見られる主要な疾患の病態、診断法、治療について理解する。 2. 成人期・老年期で見られる主要な症状の発生要因を理解し、これらの症状の原因となりうる疾患を挙げることができる。 3. 女性生殖器の機能及び女性特有の病態、症状、治療等について理解する。

授業回数	授　業　内　容　及　び　計　画	事前・事後学習 (学習課題)	担当者名	授業形態
	講義の日程は別に配布する時間割を参照してください。			
	＜内科・外科疾患＞	授業後に重要事項の確認・復習をしっかり行っていただきたい。		講　義
第1回	循環器疾患		佐　伯	
第2回	呼吸器疾患		〃	
第3回	高血圧、大動脈疾患、感染症		〃	
第4回	消化器疾患（１）：消化管の疾患		〃	
第5回	消化器疾患（２）：肝臓・胆のう・膵臓の疾患		〃	
第6回	血液疾患		〃	
第7回	代謝・内分泌疾患		〃	
第8回	腎泌尿器疾患		〃	
第9回	脳の疾患		〃	
第10回	皮膚・眼・耳鼻咽喉・口腔の疾患		〃	
第11回	運動器・神経系の疾患		〃	
第12回	加齢変化と疾患		〃	
第13回	救急ICU疾患、その他		〃	
	＜婦人科疾患＞			
第14回	婦人科疾患（１）：炎症性疾患、腫瘍性疾患		〃	
第15回	婦人科疾患（２）：不妊症、生殖医療		寺　田	
第16回	期末試験		佐　伯	

テキスト	＜内科・外科疾患＞ 特に指定しませんが、講義内容は主に下記の文献を参考にして構成されています。 ・医療情報科学研究所　編集．病気がみえる Vol. 1－9．メディックメディア． ・松田暉　他　総編集．(2010)．看護学テキスト NICE 疾病と治療 I-IV．南江堂． ＜婦人科疾患＞ 特に指定しませんが、内容と価格から下記のものがよいと考えます。 百枝幹雄・山中美智子・森明子　編集．(2019)．看護学テキスト NICE 病態・治療論［13］産科婦人科疾患．南江堂．
参考文献	・矢崎義雄　総編集．(2013)．内科学　第 10 版．朝倉書店． ・畠山勝義　監修．(2016)．標準外科学　第 14 版．医学書院． ・松野丈夫・中村利孝 総編集．(2015)．標準整形外科学　第 12 版．医学書院． ・富田靖　監修．(2013)．標準皮膚学　第 10 版．医学書院． ・木下茂　監修．(2016)．標準眼科学　第 13 版．医学書院． ・医療情報科学研究所　編集．(2018)．病気がみえる Vol. 9 婦人科・乳腺外科．メディックメディア．
他科目との関連	「人体の構造と機能」「病態生理」「臨床薬理」や看護専門科目全般と関連します。

成績評価の方法	期末試験（100%）で評価します。
学習相談学習体制	オフィスアワーは特に設定しませんが、メールにてアポイントメントをとっていただければ随時ご相談に応じます。
学習指導法の工夫	
授業改善の特記事項	講義内容は毎年度見直しを行い、改善を行っています。
備　考	講義では様々な疾患について看護学生として学ぶべき内容を紹介しており、情報量の多い授業となっています。講義を参考に学生さん各自が自己学習を行って理解を深め、必要なものは記憶することが大切です。 講義の日程は別に配布する時間割を参照してください。

科　目 コード	21155	授業 科目	疾病論Ⅱ (NosographyⅡ)	担当 教員	○佐伯宣久 松岡剛司（非常勤） 稲福徹也（非常勤） 青山貴博（非常勤） 山本和義（非常勤）

開講年次	2年次 後期	単位数	2単位	科目 分類	専門関連科目	授業 形態	講　義
選択必修	必　修	時間数	30時間				

履修条件		
	前提科目	なし
	その他	なし

授業概要	周産期、及び小児期に特有の病態生理、症状、診断、治療等について学修する。また、主要な精神疾患についても学修する。
到達目標	1. 主な周産期疾患の病態生理・診断・治療を理解する。 2. 主な小児疾患の病態生理・診断・治療を理解する。 3. 主な精神疾患や認知症の病態・診断・治療を理解する。

授業回数	授　業　内　容　及　び　計　画	事前・事後学習 (学習課題)	担当者名	授業形態
	講義日程は別に配布する時間割を参照してください。			
第1回	妊娠の異常と合併症妊娠（１）	授業後に重要事項の確認・復習をしっかり行っていただきたい。	佐　伯	講　義
第2回	妊娠の異常と合併症妊娠（２）		〃	
第3回	小児疾患（１）：総論、新生児疾患		〃	
第4回	小児疾患（２）：代謝疾患、内分泌疾患		〃	
第5回	小児疾患（３）：膠原病・炎症性腸疾患・血液疾患 腫瘍性疾患		〃	
第6回	小児疾患（４）：呼吸器疾患、消化器疾患		〃	
第7回	小児疾患（５）：循環器疾患		〃	
第8回	小児疾患（６）：腎泌尿器疾患、神経疾患		〃	
第9回	小児疾患（７）：発達障害と小児の精神疾患		松　岡	
第10回	精神疾患（１）		青　山	
第11回	精神疾患（２）		〃	
第12回	精神疾患（３）		〃	
第13回	性同一性障害		山　本	
第14回	認知症		稲　福	
第15回	臨床検査・放射線医学・再生医療		佐　伯	
第16回	期末試験		〃	

テキスト	＜周産期疾患＞ 特に指定しませんが、内容と価格から下記のものがよいと考えます。助産師を志す方は参考文献にある教科書から選んでもよいと思います。 百枝幹雄・山中美智子・森明子　編集.（2019）. 看護学テキストNICE 病態・治療論［13］産科婦人科疾患. 南江堂. ＜小児疾患＞ 特に指定しませんが、内容と価格から下記のものがよいと考えます。 真部淳・松藤凡・小林京子　編集.（2019）. 看護学テキストNICE 病態・治療論［14］ 小児疾患. 南江堂.

	＜精神疾患＞ 特に指定しませんが、内容と価格から下記のものがよいと考えます。 加藤温・森真喜子　編集.（2019）. 看護学テキストNICE 病態・治療論［12］ 精神疾患. 南江堂.
参考文献	＜周産期疾患＞ ・医療情報科学研究所 編集.（2018）. 病気がみえる Vol. 10 産科. メディックメディア. ・東京慈恵医科大学産婦人科学講座　翻訳.（2015）. ウイリアムス産科学　原著24版. 南山堂. ・荒木勤.（2008）. 最新産科学　正常編. 文光堂 ・荒木勤.（2012）. 最新産科学　異常編 文光堂 ＜小児疾患＞ ・医療情報科学研究所　編集. 病気がみえる Vol. 1－9. メディックメディア. ・内山聖　監修.（2013)標準小児科学, 医学書院　2013 ・内山聖・安次嶺馨　編集.（2009）. 現場で役立つ小児救急アトラス. 西村書店. ・衞藤義勝　監修.（2015）. ネルソン小児科学　原著第19版. エルゼビア・ジャパン. ＜精神疾患＞ ・渡辺雅幸.（2015）. 専門医がやさしく語る初めての精神医学, 中山書店. （精神疾患についてわかりやすく説明されている） ・武田雅俊　監修.(2014). 精神医学マイテキスト 改訂2版. 金芳堂. ・上島国利・立山萬里　編集.（2012）. 精神医学テキスト改訂第3版. 南江堂.
他科目との関連	「人体の構造と機能」「病態生理」「臨床薬理」や看護専門科目全般と関連します。特に、母性保健看護Ⅰ、母性保健看護Ⅱ、精神保健看護Ⅰ、精神保健看護Ⅱ、小児保健看護Ⅰ、Ⅱで学んだ知識と統合し、母性保健看護実習、小児保健看護実習および精神保健看護実習で活用する。
成績評価の方法	期末試験（100％）で評価します。
学習相談・学習体制	オフィスアワーは特に設定しませんが、メールにてアポイントメントをとっていただければ随時ご相談に応じます。
学習指導法の工夫	
授業改善の特記事項	講義内容は毎年度見直しを行い、改善を行っています。
備　考	講義では様々な疾患について看護学生として学ぶべき内容を紹介しており、情報量の多い授業となっています。講義を参考に学生さん各自が自己学習を行って理解を深め、必要なものは記憶することが大切です。 講義の日程は別に配布する時間割を参照してください。

科目コード	N230	科目名	臨床薬理			DPとの関連	1／2／3
開講年次	2年次後期	科目名（英語）	Clinical Pharmacology			単位数	2単位
選択必修	必修	時間数	30時間	科目分類	専門教養科目	授業形態	講義
科目責任者	城所望	実務経験	あり	担当教員	城所望	保助看の読み重ね	なし

履修条件（前提科目）	なし
履修条件（その他）	なし
授業概要	薬物と人体との関わりについて、薬物がどのように身体に影響を及ぼすかを人体構造学、生体機能学、細菌学などの知識を基に学習する。また、臨床的な立場から、薬剤の種類、主作用と副作用、薬の体内動態（吸収、分布、代謝、排泄等）などを学習する。
到達目標	1. 薬がどのようにして効くのか、その作用機序を理解する。 2. 薬の副作用や他剤と併用したときの影響まで幅広い知識を身につける。 3. 薬の効能、副作用、服薬方法などを患者に説明できる。

回数	授業内容及び計画	事前・事後学習	担当教員	授業形態
第1回	病態生理学の復習1	病態生理学の復習	城所望	講義
第2回	病態生理学の復習2	病態生理学の復習	城所望	講義
第3回	病態生理学復習小テスト 第1章：薬理学とは	病態生理学全般 いちばんやさしい薬理学テキストP10－40	城所望	小テスト 講義
第4回	第2章：神経系に作用する薬	いちばんやさしい薬理学 p48－70	城所望	講義
第5回	第3章：呼吸器系に作用する薬	いちばんやさしい薬理学 p72－84	城所望	講義
第6回	第4章：消化器系に作用する薬	いちばんやさしい薬理学 p86－102	城所望	講義
第7回	第5章：循環器系・血液に作用する薬	いちばんやさしい薬理学 p104－126	城所望	講義
第8回	第6章：炎症・免疫系に作用する薬	いちばんやさしい薬理学 p128-142	城所望	講義
第9回	第1～6章までの小テストと復習	いちばんやさしい薬理学 第1～6章	城所望	講義
第10回	第7章：抗感染症薬	いちばんやさしい薬理学 ｐ１４４－１７６	城所望	講義
第11回	第８章：泌尿器系に作用する薬	いちばんやさしい薬理学 ｐ１７８－１９０	城所望	講義
第12回	第９章：内分泌系に作用する薬	いちばんやさしい薬理学 ｐ１９２－２１２	城所望	講義
第13回	第１０章：抗腫瘍薬	いちばんやさしい薬理学	城所望	講義

		ｐ２１４－２３０		
第14回	第１１章：目に作用する薬	いちばんやさしい薬理学 ｐ２３２－２４２	城所望	講義
第15回	臨床薬理学総復習 試験対策	第１－１１章	城所望	講義
第16回	期末試験		城所望	
テキスト	１．いちばんやさしい薬理学　成美堂出版 ２．系統看護学講座別巻　臨床薬理学　医学書院			
参考文献	ー			
他科目との関連	解剖・生理学、病態生理学の復習をしながら、臨床薬理学の理解を深める			
成績評価の方法	講義参加状況・学習態度１０％、小テスト３０％、期末試験６０％の予定			
学習相談・学習体制	講義中、終了後に質問に対応する。 時々アンケートをとり、疑問に答えていく。			
学習指導法の工夫	病態生理学とリンクさせながら進めて行く			
授業改善の特記事項	わかりやすい資料の作成、配布をこころがける			
備考	積極的に授業に参加することを期待する			

科　目 コード	21121	授業 科目	栄養と代謝 （Biochemistry and Nutrition）	担当 教員	○新城澄枝（非常勤）

開講年次	2 年次 後期	単位数	2 単位	科目 分類	専門関連科目	授業 形態	講　義
選択必修	必　修	時間数	30 時間				

履修条件		
	前提科目	なし
	その他	なし

授業概要	生命維持や細胞機能維持と栄養との関連を生理・生化学的に学修すると共に、代謝のメカニズムを把握し、栄養が人体に及ぼす影響を学修する。また、メタボリック症候群に関連する健康問題と食生活の関係について学び、地域の食材の特徴を活かし、健康と関連する食生活について学修する。
到達目標	1. 生命維持や健康の保持増進の面から食生活の意義について述べることができる。 2. 栄養素の種類、消化・吸収、代謝と健康との関係について説明することができる。 3. エネルギー、各種栄養素の量と質についての理解を深め、バランスの良い食生活について説明することができる。 4. 食事の意義や現代における食生活と健康問題との関連について述べることができる。 5. 生活習慣病の発症・重症化予防について、メタボリックシンドロームの概念に基づき説明することができる。 6. 科学的根拠に基づいた食の選択・実践能力を培い、食の自己管理能力を高める。

授業回数	授　業　内　容　及　び　計　画	事前・事後学習 （学習課題）	担当者名	授業形態
第 1 回	1. 健康と食生活（1） 1）体の構成成分と食品の構成成分（栄養素） 2）生体内環境の維持と食事支援 3）生物にとって食べることとは（摂食の意義）	関連配布資料 課題レポート	新　城	講　義
第 2 回	4）五(六)大栄養素について 5）生体エネルギー・ATP とエネルギー代謝について、 6）栄養素等摂取基準、日本食品標準成分表について 7）正しい食生活（食事）とは	関連配布資料 課題レポート		
第 3 回	2. 消化器系器官と消化・吸収の概略 1）消化管ホルモン、代表的な消化酵素、 2）小腸の構造と機能、管腔内消化と膜消化について、 3）吸収経路（門脈系、リンパ系）と栄養素の種類 3. 細胞内小器官とその機能	関連配布資料 課題レポート		
第 4 回	4. 炭水化物（糖質）の消化・吸収と代謝 1）糖質の生理機能 2）炭水化物（糖質）の化学的消化と吸収 3）単糖類、二糖類の膜消化と吸収経路 4）主な臓器と glucose transporter 5）インスリン作用と GLUT（グルット）4 の関係 6）食後および空腹時の血糖調節 7）主な臓器における糖質代謝 解糖・TCA・電子伝達系、グリコーゲン回路 グルクロン酸経路、五炭糖リン酸回路、糖新生系	関連配布資料 課題レポート		
第 5 回	5. たんぱく質の消化・吸収と代謝 1）たんぱく質の生理機能 2）消化器系器官とたん白質の化学的消化と吸収 3）ペプチド、アミノ酸の膜消化と吸収経路 4）アミノ酸とペプチドの吸収の違い 5）アミノ酸の代謝、核酸およびたん白質の合成 6）たんぱく質と食物アレルギー 7）たんぱく質の変性と消化吸収、低アレルゲン化 8）たんぱく質変性を利用した調理・加工例	関連配布資料 課題レポート		
第 6 回	6. 脂質の消化・吸収と代謝 1）胆汁酸の腸肝循環 2）長鎖脂肪酸のトリグリセライドの消化と吸胆	関連配布資料 課題レポート		

	3) 中鎖脂肪酸のトリグリセライドの消化と吸収 4) 循環脂質の種類と役割 5) リポ蛋白形成の意義 6) リポ蛋白の種類と機能 7) 体内でのリポ蛋白の移動と代謝 8) 脂肪酸代謝、コレステロール代謝 9) コレステロール代謝とステロイドホルモン産生			
第 7 回	7. エネルギー代謝 1) 適正 P:F:C バランス下における三大栄養素のエネルギー産生相関 2) PFC アンバランス下でのエネルギー代謝 例：糖尿病者と糖質抜きダイエット者のエネルギー代謝 3) 脂肪酸の β-酸化亢進とケトン体産生	関連配布資料 課題レポート		
第 8 回	8. ビタミンとミネラル	関連配布資料		
第 9 回 第 10 回	9. ２１世紀の健康づくり：国の健康・栄養施策 10. 健康と食生活（２） 1) 思春期・青年期の食生活の現状 2) 食情報の氾濫, フードファディズムと食の選択能力 3) 18 歳までに育てたい食の自己管理能力	課題レポート		
第 11 回	11. 生活習慣病発症予防のための食生活（１） 1) 食生活とメタボリックシンドロームの深い関係 2) 過剰栄養・低栄養とインシュリン抵抗性 3) エネルギー, 各種栄養素の質･量のバランスとは	関連配布資料 課題レポート		
第 12 回	12. 生活習慣病発症予防のための食生活（２） 1) バランスのとれた食生活：四群点数法：基礎編 2) 発達段階に応じた四群点数法の活用：応用編１	関連配布資料 課題レポート		
第 13 回	13. 生活習慣病重症化予防・治療の食生活（１） 1) 科学的根拠に基づいた減量の重要性 2) PFC バランスと疾患：糖質抜きダイエットの危険性	関連配布資料 課題レポート		
第 14 回	14. 生活習慣病重症化予防・治療の食生活（２） 1) 四群点数法応用編：貧血, 脂肪肝, 糖尿病. 腎症等 2) 体重計、血圧計、四群点数法活用で賢い食事管理	関連配布資料 課題レポート		
第 15 回	15. まとめ: 沖縄百寿者に学ぶ健康のための食生活	関連配布資料 課題レポート		

テキスト	資料を配布する。
参考文献	「新しい食物学-食生活と健康を考える-改訂第２版」加藤陽治/長沼誠子編集、南江堂、2009 「標準的な健診･保健指導プログラム(確定版)：全４冊」厚生労働省健康局、平成 19 年 4 月 「健康の科学シリーズ 9 沖縄の長寿」日本栄養･食糧学会監修、関西学会出版センター
他科目との関連	「栄養と代謝」の前半部は、後半部への導入とする。
成績評価の方法	授業への参加状況 20%、課題レポート 60%、小テスト 20%
学習相談・学習体制	毎回の授業ごとに、関連のある課題レポートを課す。レポートは次回の授業までに提出を求め、講義内容についての理解を広げ深める方法の体験を促す。
学習指導法の工夫	主としてパワーポイントを用いて講義する。
授業改善の特記事項	講義内容を伝達するための講義資料を随時作成し、配布する。
備　考	

科　目 コード	23111	授業 科目	家族社会学演習 (Sociology of the Family)	担当 教員	○山口賢一

開講年次	2年次 後期	単位数	1単位	科目 分類	専門関連科目 (保健師課程)	授業 形態	演　習
選択必修	必　修	時間数	30時間				

履修条件		
	前提科目	なし
	その他	なし

授業概要	学生の積極的な参加も織り込みながら、基礎概念を理解し、それらを応用して現実の家族について考察できるように、家族に関する諸学説、現代社会における家族とその周辺の事象（家族の個人化、家族と市場のジェンダー化、少子高齢化と家族等）について学修する。
到達目標	近代家族の形成と変化に関する社会学的理解を深め、批判的思考を通した家族についての考察、発信ができるようになる。

授業回数	授　業　内　容　及　び　計　画	事前・事後学習 (学習課題)	担当者名	授業形態
第１回	授業概要説明 家族社会学とは何か／批判的思考とは何か	テキスト pp. 1-22	山　口	演　習
第２回	家族の多様性と政治性	〃		
第３回	近代化と家族の変化	テキスト pp. 23-48		
第４回	家族と貧困	テキスト pp. 49-76		
第５回	結婚	テキスト pp. 77-108		
第６回	就業と家族	テキスト pp. 109-136		
第７回	妊娠、出産、子育て	テキスト pp. 137-164		
第８回	親-成人子関係	テキスト pp. 165-196		
第９回	事例検討「ひきこもり」	〃		
第10回	LGBTと家族	テキスト pp. 209-210		
第11回	事例検討「LGBT」	〃		
第12回	グローバル化と家族	テキスト pp. 205-208		
第13回	事例検討「グローバル化」	〃		
第14回	総合演習	テキスト pp. 1-215		
第15回	総括／批判的思考を用いて家族を考える	〃		

テキスト	岩間暁子ほか編『問いからはじめる家族社会学-多様化する家族の包摂に向けて』有斐閣
参考文献	授業中に適宜指示する
他科目との関連	授業科目全般
成績評価の方法	期末レポート（４０％）、グループワーク課題（４０％）、積極的参加度（２０％）
学習相談・学習体制	オフィスアワーは毎授業後、科目責任者の研究室にて対応する
学習指導法の工夫	討論型授業
授業改善の特記事項	グループワークなど、学生が討論できる機会を増やす
備　考	学生は積極的にグループワークに参加し、発言することが期待される。コロナウィルス感染拡大の影響で対面授業が実施できない場合は、遠隔教材に沿った学習方法を別途指示し、成績評価の方法についても周知する。

科　目 コード	22142	授業 科目	ストレスマネジメントと健康教育 (Stress Management and Health Education)	担当 教員	○知念真樹　渡久山朝裕 牧内　忍　長濱直樹 未　定

開講年次	2年次 後期	単位数	1単位	科目 分類	専門関連科目 (保健師課程)	授業 形態	講義・演習
選択必修	必　修	時間数	30時間				

履修条件		
	前提科目	なし
	その他	なし

授業概要	ストレスの概念，各種ストレッサー，ストレス反応及び調整因子を理解した上で，ストレスに関する特徴ならびにストレスのアセスメントおよびストレスマネジメントの方法論を学修する。また，保健看護の専門職者として，多くの人々が QOL を高められるような健康教育の方法論についても学修する。
到達目標	1. ストレスの概念、ストレッサー、ストレス反応等について説明できる。 2. 自らのスモールライフイベントから発生するストレス反応に気づくことができる。 3. ストレスのアセスメントとマネジメントが実践できる。 4. 保健看護職者として必要な健康教育の方法論を身につけ、基礎的な教育実践の方法を学ぶことができる。

授業回数	授　業　内　容　及　び　計　画	事前・事後学習 (学習課題)	担当者名	授業形態
第 1 回	ガイダンスおよびストレスマネジメントの概要 ストレス解消法アンケート	配付資料	渡久山	講義・演習
第 2 回	ストレスの本質 1（ストレッサ - およびストレス反応） 自律訓練法の練習	〃	〃	〃
第 3 回	ストレスの本質 2（ストレス評価およびコーピング） ストレス関連疾患について	〃	〃	〃
第 4 回	自律訓練イメージの練習・認知行動療法①	〃	〃	〃
第 5 回	認知行動療法②（詳細解説）ビデオ学習	〃	〃	〃
第 6 回	予防的ストレスマネジメントとリラクセーション技法 バイオフィードバック	〃	〃	〃
第 7 回	中間テスト		〃	
第 8 回	科目後半のオリエンテーション、 健康教育と保健行動	公衆衛生看護学. jp(第 5 版) p 72-85〃	知　念 知　念	講義・演習 〃
第 9 回	健康行動に関する理論	〃	〃	〃
第 10 回	教育方法の基礎、指導案、教育教材の作成について	〃	〃	〃
第 11 回	教育方法に関するグループディスカッション	地域保健看護実習 I の実習記録と資料に目をとおしておくこと〃	知念・牧内・他教員	〃 〃 〃 〃
第 12 回	指導案、教育教材作成について	各グループの作業状況に応じ、空時間で進めること	〃	
第 13 回	地域保健看護実習 I の地区ごとに分かれて健康教育のプレゼンテーション	他のグループの健康教育指導計画、指導案を読んで評価しておくこと	〃	
第 14 回	各市町村の代表グループの健康教育プレゼンテーション	〃	〃	
第 15 回	本科目のまとめとミニテスト		知念	

テキスト	1. 荒賀直子 後閑容子(2019)公衆衛生看護学 jp 第 4 版データ更新版インターメディカル.
参考文献	・松本千明. (2002). 健康行動理論 実践編 生活習慣病の予防と治療のために. 医歯薬出版. ・宮坂 忠夫 川田 智惠子 吉田 亨. (2013). 最新保健学講座 健康教育論 （第２版）.メヂカルフレンド社. ・Karen Glanz,他（著), 木原雅子,他（訳） 健康行動学 その理論、研究、実践の最新動向.
他科目との関連	「地域保健看護」関連科目、地域における健康教育、学校保健領域との関わりを意図した科目とする。
成績評価の方法	前半（心理担当）中間テスト50％、 後半（地域保健担当）授業参加状況（１０％）、グループ学習への貢献度（10%）、課題（３０％：健康に関する理論のレポート10点、健康教育指導計画・指導案・プレゼンテーション20点）で評価する（合計50点満点）。代表に選ばれたチームのメンバーには、２点づつ加算する。
学習相談・学習体制	前半：各講義中、終了後など定期的に質疑を受ける場面を設定し、講義内での説明を行う。 後半：月・木の17:00-18:00 それ以外 の時間は、在室であれば対応可。（知念研究室：研究福利棟213号室）
学習指導法の工夫	討議型授業
授業改善の特記事項	授業期間中、2回程度学生による授業評価を実施し、その対応可能性に応じて、速やかな改善の実施およびその他必要に応じた説明を行う。
備　考	なし

科目コード	N260	授業科目	リハビリテーション論 (Rehabilitation Medicine)	担当教員	(非常勤)

開講年次	2年次 後期	単位数	1単位	科目分類	専門教養科目	授業形態	講義
選択必修	必修	時間数	15時間				

履修条件		
	前提科目	なし
	その他	なし

授業概要	対象者の権利を擁護し、「全人的復権」としての真のリハビリテーションを学修する。ICF(生活機能分類)モデルに立って、「マイナス」を減らすよりも「プラス」を増やすことを重視し、「心身機能」よりも「活動」(生活)、「参加」(人生)の向上を目指した「活動向上訓練」の基本技術を学修する。また、リハビリテーションチームにおける看護職の役割を学修する。
到達目標	リハビリテーション医療の流れについて理解する。廃用症候群について理解できる。「介護期・終末期リハビリテーション」について理解できる。

授業回数	授業内容及び計画	事前・事後学習(学習課題)	担当者名	授業形態
第1回	「ハビリス」を考える リハビリテーションの語源からリハビリテーションの本質を考える。病期を通して廃用症候群の予防の必要生を理解する。「寝たきり老人の介護」を供覧。	適宜資料を配付する	非常勤	講義
第2回	芯から支える在宅リハビリ～集団アプローチの意味～ 中途障害者の苦悩を考え，在宅療法で孤立からの脱出，社会性の獲得のために集団アプローチが有用であることを理解する。	〃	〃	
第3回	介護期・終末期リハビリテーション 急性期からのリハビリテーションの医療の流れを包括的に捉え，終末期においても人の尊厳を守るためにリハビリテーションの考えと手法が重要であることを学ぶ。	〃	〃	
第4回	超高齢社会の介護予防 日本が突入した高齢社会は「異次元」とも言われる。これを乗り切るには国民の自助・互助に基づいた「介護予防」の実践が欠かせない。茨城県が進めているシルバーリハビリ体操指導士養成事業の実際から介護予防の重要性を学ぶ。	〃	〃	
第5回	中間テスト		〃	
第6回～8回	リハビリテーション医療について	適宜資料を配付する	非常勤	

テキスト	
参考文献	
他科目との関連	授業科目全般
成績評価の方法	テストで評価する。
学習相談・学習体制	講義終了後個別に対応する。
学習指導法の工夫	主としてパワーポイントを用いて講義する。
授業改善の特記事項	授業評価に記述された授業への要望等を必要に応じて取り入れていく。
備　考	

科　目 コード	40012	授業 科目	看護大学ゼミナールⅡ （OPCN Seminar Ⅱ）	担当 教員	○佐久川政吉　金城芳秀 山口初代

開講年次	2年次後期	単位数	1単位	科目 分類	専門関連科目	授業 形態	演　習
選択必修	必　修	時間数	30時間				

履修条件	前提科目	なし
	その他	なし

授業概要	これまでに学んだ現代社会への身体的・精神的・社会的不適応から生じている健康問題や関連領域の課題から，身近な地域の課題解決に取り組む。学生が主体的に地域の課題を捉え、併せて地域の資源（強み）を見いだし、課題解決への提案に取組む。主体的な取り組み過程を通して、看護大学ゼミナールⅠで学んだ情報収集・分析・代案の提示と結果の予測、最善策の選択、実行など自らの問題解決能力を磨き、能動的学習能力とチームワーク力を身につける。
到達目標	1. 現代社会に生じている健康問題に積極的に関心を向けることができる。 2. 健康問題の学習テーマについてチームで絞り込むことができる。 3. 絞り込む過程では看護大学ゼミナールⅠで学んだ問題解決方法や問題解決能力を発揮することができる。 4. 図書・文献検索から多様な情報収集を行い、学術的情報にアクセスすることができる。 5. 地域に出かけて行き、活動等を通して実践的に学ぶことができる。 6. チームのメンバーとディスカッションができる。 7. チームの一員としてチームワークに貢献できる。 8. チームの一員としてレポート作成に参画できる。 9. チームの一員としてプレゼンテーションに参画できる。 10. 自ら主体的・能動的に学習することができる。

授業回数	授　業　内　容　及　び　計　画	事前・事後学習 （学習課題）	担当者名	授業形態
第1･2回 第3･4回 第5･6回 第7･8回 第9･10回 第11･12回 第13･14回 第15･16回	授業目標の理解、各活動プログラムの説明、チーム配置、活動課題の検討、誓約書の提出 学習活動① 中間報告会 学習活動② 学習活動③ 学習活動④ 学習活動⑤ 活動発表会・評価 振り返り・アンケート	事前、事後学習や学習課題については、各チームのテーマに応じて各担当者が随時行う。	佐久川・金城・山口・渡久山	演　習

テキスト	1. 初年次教育テキスト編集委員会編．(2009)．フレッシュマンセミナーテキスト．大学新入生のための学び方ワークブック．東京電機大学出版局.
参考文献	適宜、紹介する。
他科目との関連	「看護大学ゼミナールⅠ」での学習を土台にし、さらに「看護大学ゼミナールⅢ」での学習につなげていく。
成績評価の方法	地域活動への参加40%、プレゼンテーション10%、期末個人レポート30%、担当教員の評価20%
学習相談・学習体制	学生たちの主体性を尊重しつつ、不十分な点については助言しながら課題を達成させる。
学習指導法の工夫	発想の転換、思考の柔軟性、新しい視点をキーワードに、学習活動を促していく。

授業改善の特記事項	この科目について、授業の最終日にアンケート調査を行い、学生たちから指摘された改善点や修正点を検討し、次年度に活かしていく。
備　考	学習活動は、5日間、合計15時間程度を目安にし、活動先と調整のうえ、計画的に行うこと。

科　目 コード	23122	授業 科目	保健医療福祉制度 (Health Care and Welfare System)	担当 教員	○知念真樹、牧内忍、田場由紀、　島村聡、田原裕之、上原厚子、未定 実務経験：あり

開講年次	3年次 前期	単位数	2単位	科目 分類	専門教養科目 (保健師課程・看護師課程)	授業 形態	講　義
選択必修	必　修	時間数	30時間				

履修条件		
	前提科目	なし
	その他	なし

講義概要	様々な健康問題を抱え、複雑多様化する社会において、保健医療福祉に関する施策・制度（医療法・地域保健法・社会福祉法など）、および政策決定過程について学修する。また、歴史的変遷により影響を受けた沖縄の保健医療福祉の特徴についても学修する。
到達目標	1. 我が国の保健医療福祉の理念を踏まえ、過去と現在の保健医療福祉の概観、及び沖縄の保健医療福祉の特徴が理解できる。 2. 看護職者として看護を実践するための基本的な制度(医療法・保健師助産師看護師法)が理解できる。 3. 健やかに生きるための施策・制度が理解できる。 4. 生涯発達（母子・成人・老人）の各段階の基本的な施策・制度が理解できる。 5. 倫理を保ちながら共に生きるための施策・制度が理解できる。

講義回数	授　業　内　容　及　び　計　画	事前・事後学習(学習課題)	担当者名	授業形態
第１回	科目オリエンテーション／我が国の保健医療福祉の理念と変遷我が国の保健医療	事前課題：テキスト1. p86-100、テキスト3. p11-27を予習する	知念	講　義
第２回	沖縄県の保健医療福祉の特徴 課題レポートあり	なし	〃	
第３回	看護と制度（保健師助産師看護師法など）	なし	〃	
第４回	社会保障制度の概要と医療制度	事前課題：テキスト２．P26-51,テキスト３.P183-202,227-242を予習する。	〃	
第５回	生活を支える施策・制度（社会福祉、生活保護法、年金・手当など）	事前課題：テキスト２p174-197を読んでくること	未　定	
第６回	保健医療福祉行政と施策化（行政組織、政策形成過程）	事前課題：沖縄県南部保健所活動概況と那覇市保健所事業概要を参考に、事前課題を行うこと	知念	
第７回	母子の施策・制度	事前課題：テキスト１.P234-238、	未　定	

		テキスト２．P116-135、テキスト３．P106-115を予習すること		
第８回	学校保健の施策・制度	事前課題：テキスト１．P447-450、テキスト３．P370-384を予習すること	知念/ゲストスピーカー	
第９回	健康づくりの施策・制度（成人を中心に）	事前課題：テキスト１．P259-262、テキスト３．P447-450を予習する	未　定	
第10回	高齢者の施策・制度 レポート：我が国の高齢者の施策の特徴について	事前課題：テキスト１．P285-294、テキスト２．P137-154．215-228を予習する	田場	
第11回	産業保険の施策・精度	事前課題：テキスト１．P462-472、テキスト２．P229-243、テキスト３．P319-330を予習する	田原裕之	
第12回	公衆衛生施策・制度（感染症法を中心になど）	事前学習：テキスト１．P367-363、テキスト３．P22-25，135-151，155-165を予習する	知念	
第13回	障害児・者の施策・制度①	事前課題：テキスト１．P326-335，テキスト２．P137-156テキスト4．に目を通しておくこと	島村	
第14回	障害児・者の施策・制度②		〃	
第15回	科目のまとめ グループワーク 身近な生活の社会福祉と社会保障	事前課題：テキスト２．のp265-269を事前に読みこんで参加すること。	知念	
第16回	期末試験		知念	
テキスト	1．荒賀直子．後閑容子．（最新刊）．公衆衛生看護学．jp．インターメディカル 2．増田雅暢 他．（最新刊）．ナーシンググラフィカ　健康支援と健康保障③　社会福祉と社会保障．メディカ出版 3．厚生労働統計協会．（最新刊）．国民衛生の動向．厚生労働統計協会 4．丸山晃．（最新刊）．障害者総合支援法とは．東京都社会福祉協議会			

参考文献	1. 看護法令要覧（最新版）　日本看護協会出版会 2. 看護行政研究会　（編集）．（最新版）．　看護六法．　新日本法規出版 3. 山縣 文治　（監修）, 福田 公教　（監修）, 石田 慎二　（監修）, ミネルヴァ書房編集部　（編）．（最新版）．　社会福祉小六法 ワイド版．　ミネルヴァ書房 4. 厚生労働統計協会．（最新版）．　国民の福祉と介護の動向．　厚生労働統計協会 5. 医療情報科学研究所　（編集）．（最新版）．　公衆衛生がみえる．　メディックメディア 6. 日本医療ソーシャルワーク研究会　（編集）．（最新版）．　医療福祉総合ガイドブック．　医学書院 7. 大嶺千枝子（著）．（2020）．　沖縄の看護　−琉球政府の看護制度を紐解く−　新星出版
他科目との関連	沖縄の生活と文化、社会学、法学などの既習科目の内容を基盤として学習する。 本科目は保健師課程、看護師課程の読み重ね科目である。
成績評価の方法	授業参加状況（所感票も参考にします）　20%、レポート 20%、筆記試験 60%で評価を行う
学生相談・学習体制	オフィスアワーは毎週水・木曜日　13:30-17:30（知念：研究福利棟213号室）
学習指導法の工夫	多様なメディアの活用：ユニパを活用し、事前学習資料の配布、講義の資料の共有やレポート提出を行う。動画などを活用した事前学習を行う。
授業改善の特記事項	授業内容を補充・説明する資料を配布する。授業内容と保健師国家試験問題の関連を解説する。
備　考	地域保健看護Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、地域保健看護演習、地域保健実習Ⅱの基礎となる授業である。 ・本科目は、看護師課程「専門基礎分野」の『健康支援と社会保障制度』及び保健師課程「公衆衛生看護学概論」「保健医療福祉行政論」の内容を含む

科　目 コード	21012	授業 科目	人体の構造と機能演習Ⅱ (Laboratory Studies of Structure and Functions of the Human Body Ⅱ)	担当 教員	○佐伯宣久

開講年次	3年次 前期	単位数	1単位	科目 分類	専門関連科目	授業 形態	演　習
選択必修	必　修	時間数	30時間				

履修条件	前提科目	なし
	その他	なし
授業概要		臨地実習での経験をもとに、学生が小グループ単位で能動的に演習し、特に主要な人体の構造と機能について学修する。
到達目標		これまでの講義で学んだことや臨地実習での経験を踏まえ、様々な症候の発生メカニズムを学修する。これにより人体の構造と機能及び疾患の病態生理についてさらに理解を深める。また、症候から疾患を推測する思考プロセスを学び、これを看護実践へ応用するための基礎とする。

授業回数	授　業　内　容　及　び　計　画	事前・事後学習 (学習課題)	担当者名	授業形態
第1回	授業概要の説明	与えられたテーマについて発表できるよう準備する。	佐　伯	演　習
第2回	教員による講義あるいは発表	〃		
第3回	設定されたテーマについて各グループで学習し、その成果を発表する	〃		
第4～15回	〃	〃		
第16回	期末試験			

テキスト	特にありません。
参考文献	特にありません。
他科目との関連	「人体の構造と機能」「病態生理」「臨床薬理」「疾病論」や看護専門科目全般と関連します。
成績評価の方法	学習成果発表とレポート、期末試験で評価します
学習相談・学習体制	オフィスアワーは特に設定しませんが、メールにてアポイントメントをとっていただければ随時ご相談に応じます。
学習指導法の工夫	3名1グループで行います。
授業改善の特記事項	講義内容は毎年度見直しを行い、改善を行っています。
備　考	

科　目 コード	22143	授業 科目	身体活動論演習 （英訳：Physical Activity Seminar）	担当 教員	○牧内忍 知念康代（非常勤） 実務経験：あり

開講年次	3年次 前期	単位数	1単位	科目分類	専門関連科目	授業形態	演　習
選択必修	選　択	時間数	30時間				

履修条件		
	前提科目	なし
	その他	なし

授業概要	運動が体と心に及ぼす影響を実感するとともに、継続的な運動を通して体を動かすことや仲間と共に運動することの楽しさを体験し、生活の中に運動を取り入れ習慣化するための方法を学修する。
到達目標	1. 運動が体と心に及ぼす影響を実感する。 2. 継続的な運動を通して体を動かすことや仲間と共に運動することの楽しさを体験する。 3. 自己の生活の中に、楽しく体を動かす方法（日常生活の動きの中で楽しく体を動かす、日常生活から離れて楽しく体を動かす、鍛えた運動能力を試す）を取り入れる。

授業回数	授　業　内　容　及　び　計　画	事前・事後学習（学習課題）	担当者名	授業形態
第１回	＊15 回中 13 回(26 時間)は体育館で行う（A・B クラス） ＊最後の回(2 コマ連続)は屋外に出て全員で運動する。 「身体活動論演習」導入 自己の体の動きや姿勢を観察し、運動習慣を評価する。	日常的に体を動かし、生活習慣や体重、柔軟性などの変化を体感する。	牧内・知念	演　習
第2～13回	姿勢・動きを見る、ひずみに気づく、ひずみを整えて変化を感じる。自己の運動習慣を評価する。 体を動かす楽しさと継続的に運動することによる心身の変化を体験する。 気功・エアロビクス・ジャズダンスなど 自己の体の動きや姿勢を観察し、運動習慣の変化を評価する。	〃 〃	知念	
第14・15回	自然の中で、全員で運動する 自己の体の動きや姿勢を観察し、運動習慣の変化を評価する。		牧内・知念	

テキスト	開講年度初めに提示
参考文献	開講年度初めに提示
他科目との関連	「身体活動論」（１年次前期）
成績評価の方法	授業への参加状況80%、レポート20%
学習相談・学習体制	個別の相談には随時対応する。オフィスアワーは、毎週木曜日4・5限目、220研究室で対応する。
学習指導法の工夫	その他：講師と一緒に実際に体を動かし、体験しながら身体活動を学べるようにする。
授業改善の特記事項	授業評価に記述された授業への要望等を必要に応じて取り入れていく。
備　考	養護教諭2種免許資格を希望する者は必修。 体調不良および運動実施にあたって制限等のある学生は事前に連絡をすること。

科目コード	N110	科目名	医療と倫理			DPとの関連	1／2／3
開講年次	4年次後期	科目名（英語）	Medical Ethics			単位数	2単位
選択必修	必修	時間数	30時間	科目分類	専門教養科目	授業形態	講義
科目責任者	大城信哉（非常勤）	実務経験	あり	担当教員	大城信哉／金高　望	保助看の読み重ね	なし

履修条件（前提科目）	なし
履修条件（その他）	なし
授業概要	人の誕生から死までの間に起こりうる様々な出来事について、医療現場で直面する倫理的問題および法的問題に気づき、生命の尊厳を認識した望ましい行動が取れるための倫理的基盤について学習する。
到達目標	1. 義務の思想から功利主義、さらに徳倫理学にいたる現代の倫理思想の要点を理解する。 2. 生命倫理学の諸問題を適切に理解し、説明できるようになる。 3. 人間に対する理解を深め、自分の考えを語れるようになる。 4. 主要な医療関係法規の制定趣旨を把握し、看護師の職務を法的な側面から理解できる。 5. 医療事故における法的責任とその解決の仕組みを理解できる。

回数	授業内容及び計画	事前・事後学習	担当教員	授業形態
第1回	8回目までのイントロダクション：なぜ倫理学を学ぶのか。	予習は不要、しかし復習は必ずするように。	大城	講義
第2回	義務論、リベラリズム、功利主義、共同体主義と徳倫理学。	予習は不要、しかし復習は必ずするように。	大城	講義
第3回	臨床倫理と生命倫理および看護職の倫理綱領」について。	予習は不要、しかし復習は必ずするように。	大城	講義
第4回	インフォームド･コンセントとパターナリズム：選択か。	予習は不要、しかし復習は必ずするように。	大城	講義
第5回	脳死と臓器移植。	予習は不要、しかし復習は必ずするように。	大城	講義
第6回	ＱＯＬと人為的な死の是非。	予習は不要、しかし復習は必ずするように。	大城	講義
第7回	ケアとホスピス。	予習は不要、しかし復習は必ずするように。	大城	講義
第8回	人間理解の諸相と看護。	予習は不要、しかし復習は必ずするように。	大城	講義
第9回	法とは何か　－法的責任の基本	事前準備は不要。授業時に配付する資料を試験時に持ち込み可とするので、整理・保管する。	金高	講義
第10回	医師法　－特に「医行為」とは何か 医療法など	事前準備は不要。授業時に配付する資料を試験時に持	金高	講義

		ち込み可とするので、整理・保管する。		
第11回	保健師助産師看護師法 　　－医師看護師等の資格と職務	事前準備は不要。授業時に配付する資料を試験時に持ち込み可とするので、整理・保管する。	金高	講義
第12回	医療事故と法的責任	事前準備は不要。授業時に配付する資料を試験時に持ち込み可とするので、整理・保管する。	金高	講義
第13回	看護事故と法的責任	事前準備は不要。授業時に配付する資料を試験時に持ち込み可とするので、整理・保管する。	金高	講義
第14回	裁判外の医療紛争解決システム 薬機法その他関連法 　　－薬害	事前準備は不要。授業時に配付する資料を試験時に持ち込み可とするので、整理・保管する。	金高	講義
第15回	医療従事者が知っておくべき労働法	事前準備は不要。授業時に配付する資料を試験時に持ち込み可とするので、整理・保管する。	金高	講義
第16回	試験（金高担当分）		金高	講義
テキスト	プリントを配布する。　　（８回目まで） 授業時に資料を配付する。（９回目以降）			
参考文献	教室にて指示する。			
他科目との関連	受講者諸君が看護の現場にいくまえに知っておいてほしいことで、全科目と関連しよう。			
成績評価の方法	レポートを課す。講義内容との関連がやや特殊なので初回に注意して聞いてほしい。（８回目までの大城担当分） 授業への参加状況及び試験により評価する。初回講義時に詳細を説明する。（９回目以降の金高担当分）			
学習相談・学習体制	講義中もしくは講義終了時に質問あるいは相談してくれたら、その都度対応する。			
学習指導法の工夫	対話型授業			
授業改善の特記事項	授業評価に記述された授業への要望等を必要に応じて取り入れていく他、学期中でも受講者諸君の気づいたところがあれば言ってほしい。改善すべきところがあれば随時改善する。			
備考	倫理問題は理論的にも実践的にも明確な答えが出しにくく厄介だが、看護職に就く人にはぜひ学んでほしいものである。講義のなかでは主として生命倫理学のトピックを扱うことになるが、それ以上に医療職従事者としての現場での臨床倫理の姿勢について各人が考える準備をして臨んでほしい。受講者諸君の積極的な参加を期待する。（大城） 医療職にかかわる法制度は複雑で多岐にわたり、社会的背景を踏まえて改正され、解釈にも変化がある。講義では、これらの法律の内容を知識として詰め込むのではなく、それぞれが社会的な規範として制定されている趣旨を学ぶことによって医療関係法規への理解を深める。また、医療事故・看護事故の実情を紹介し、法的責任のあり方と医療事故・看護事故防止の方策を考える。特に、看護事故防止と患者の人権問題についても考察する。（金高）			